

めぐるいきもの气象台 きょうだい 調べるいきものたち しら



2007年6月作成

しょくぶつ 植 物

お近くの公園で見られる木や草の開花や実の時期の変化を調べます。近年、道端で見られる草にも変化が見られます。野草は人が植えたものではないものとします。



タンポポの花初見

公園で、その年初めて花を見た日を記録します。種類がわかれば、セイヨウ、カントウ、シロバナ、アカミ、中間種等区別します。1~3月ころ。



ツクシ発見

公園や空き地でその年初めて見つけた日を記録します。スギナの胞子をつける茎(くき)です。2~4月ころに見られます。



ソメイヨシノが開花

公園に植えられているソメイヨシノの花の咲き始め(最初の花が開花したころ)を記録します。3~4月。



ナガミヒナゲシ発見

公園や空き地で見たものを記録します。オレンジ色のポピー類(ヒナゲシ)。花だん用でしたが、種がこぼれて広がりました。3~6月ころ。



アジサイ花見ごろ

公園に植えられているアジサイの花の咲き出し、または見ごろとなったときを記録します。5~6月ころ。



ハギの花が見ごろ

公園に植えられているハギの花の咲き出し、または見ごろの時期を記録します。花の色は赤や白などがあります。7~10月ころ。目黒区の花です。



どんぐりを拾う

公園でどんぐりを拾った最初の日を記録します。種類は樹名ふだなどで調べます。クヌギやシイの実なども含みます。10月ころ。



ススキ銀色に輝く

公園や空き地でススキの穂が開いたころの日を記録します。人の手で植えた(植栽した)ものは除きます。10月ころ。



イロハモミジ紅葉

公園のイロハモミジの紅葉が真っ赤に見ごろになったころを記録します。11~12月ころ。

私の木・私の野草

私の木・私の野草

公園にある木や野草で、お好きなものを『私の木・私の野草』としてご自分で決めて、花の咲き出し日などの記録を継続して調べます。

毎日観測する必要はございません。行けるときに観測できた内容を記録していただければ結構です。全ての種類を観測する必要はありません。できそうなものをお選びいただき、その種を継続してお調べいただきます。

『初見(しょけん)』は、その年初めて見た日です。毎日見ている必要はありません。

『咲き出し』は最初の花が開いたころの日です。開花のようすは『咲き出し』ではなくても『2分咲き』、『5分咲き』、『満開(見ごろ)』としてご報告していただいても結構です。

こんちゅうなど
昆虫等

公園やご自宅で昆虫などを発見したり、声を聞いたりした日を調べます。温暖化の
おんだんか
えいきょう さいきん
影響などもあって、最近南の地方の虫が増えてきているようです。

シオカラトンボ類

シオカラトンボは水色の複眼(ふくがん)、オオシオカラは黒い複眼をしています。シオカラトンボのメスはムギワラトンボと呼ばれています。



シオカラトンボのオス



オオシオカラトンボのオス



オオシオカラトンボのメス



ナナホシテントウ

赤い体に7つの黒い点があります。親は、春3月ころから明るい草地の石の上などに卵を産みます。幼虫も草につくアブラムシを食べます。



クワガタムシ類

都市部の林でも見られるのはコクワガタ(写真)。そのほか目黒区ではノギリクワガタが朽木の中で冬越ししている姿が観察されています。



カブトムシ

落ち葉のたまった場所で、大人の親指より太い幼虫が見つかることがあります。親は、夜、クヌギなどの樹液に来ることもあります。



夜、小さな声で連続的に鳴きます

カナタタキ鳴き出す

夏から秋にかけて、庭木上や壁などで、チツ、チツ、チツと、かねをたたくような高い金属音で鳴きます。8月になったら注意してみましょう。

ツマグロヒョウモン

南国のチョウですが、最近目黒区内で爆発的に増えています。オレンジ色でモンシロチョウより大。メスは前ばねの先が黒いのが特徴です。



オス



メス



幼虫はスミレ類の葉を食べます



上がメス

自然教育園

ナガサキアゲハ

南国のチョウ。黒いアゲハに似ますが後ばねの突起がふつうありません。メスでは後ばねの白いもよう、上ばねの赤い点が特徴です。



アブラゼミ

ミンミンゼミ

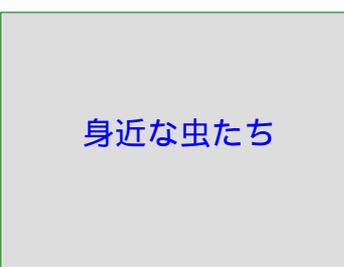
セミの鳴き出し日

ミンミンゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ、クマゼミ、ツクツクボウシの鳴き出し日を調べます。赤字は目黒区では記録が少ない種類。



ジョロウグモ網張る

木の枝の間に大きな網を張るクモ。赤や黄色の派手なもようをした親のメスグモが、巣をかけているのに気がついた日を調べます。



身近な虫たち

身近な虫たち

チョウ、バッタ、トンボなど、種類が見分けられるものでお好きな昆虫をご自分で決めていただき、種類ごとにその年初めて見た日を記録します。

毎日観測する必要はございません。行けるときに観測できた内容を記録していただければ結構です。全ての種類を観測するのではなく、できそうなものをお選びいただき、その種類を続けてお調べいただけます。種類の見分け方は、図鑑などを参考にしてください。

『初見(しょけん)』は、その年初めて見た日です。毎日見ている必要はありません。

『鳴き出し日』はその年初めてセミやコオロギなどが鳴いた(気がついた)日です。